連結財務諸表（平成２１年度決算版）について

市では、現金の収支を整理した決算書を、会計ごとに毎年作成していますが、この決算書では市全体の資産や借金がどの程度あるのか把握が困難なため、平成２０年度決算分から新たな取り組みとして、企業会計の手法を取り入れ、三田市に係わる全ての会計を一つにまとめた連結財務諸表（①貸借対照表、②行政コスト計算書、③純資産変動計算書、④資金収支計算書）を作成しています。

今回、平成２１年度決算にかかる連結財務諸表を作成しましたので、その概要をお知らせします。

問い合わせ＝財政課(559-5018　FAX559-6877)

★財務書類の種類と内容

①貸借対照表（バランスシート）

貸借対照表は、年度末時点の資産と、その資産をどのような財源で調達したのかを、左右に対比して整理した表です。

②行政コスト計算書

行政コスト計算書は、年間の経常的な行政活動に伴うコストと、使用料・手数料などの受益者からの収入を示す表で、行政サービスに対してどれだけの受益者負担を求めているのかを示す表です。

③純資産変動計算書

純資産変動計算書は、市の実質的な蓄えである純資産が、１年間にどのような要因で増減したのかを示す表です。

④資金収支計算書

資金収支計算書は、現金の収支を３つの区分に分類して、１年間での現金の増減を示す表です。

★連結の対象

三田市の財務書類の連結対象は、一般会計、公営企業会計（病院・水道）、下水道や介護保険などの特別会計、土地開発公社、第三セクターの三田地域振興㈱などで、それぞれで作成した財務書類を合算したものが連結財務書類となります。

この資料は、連結対象である丹波少年自然の家及び兵庫県後期高齢者医療広域連合の財務４表が、作成時点（H22 年 10 月）では公表されていないため、両団体の金額が含まれていません。

Copyright © 2010 Sanda City. All Rights Reserved

★連結財務４表の概要

〔貸借対照表〕

資　　産			負　　債		
1.公共資産 （土地・建物等）	2,823	（△ 13）	1.市債・立替施行・ 退手引当金等	1,006	（△ 36）
2.投資等 （基金・貸付金等）	268	（ 12）	純　資　産		
3.流動資産 （現金・預金等）	126	（△ 11）		2,211	（ 24）
計	3,217	（△ 12）	計	3,217	（△ 12）

〔行政コスト計算書〕

経　常　費　用		
1.人件費	102	（△ 11）
2.物件費等 （減価償却費76億含む）	185	（ 3）
3.補助費等 （繰出金含む）	206	（ 20）
4.支払利息等	31	（△ 5）
計　a	524	（ 7）
経　常　収　益		
使用料・事業収益・ 保険料等 b	198	（△ 1）
(差引)純行政コスト a−b	326	（ 8）

〔純資産変動計算書〕

純資産の増減内訳		
1.純行政コスト	△ 326	（△ 8）
2.一般財源	230	（△ 22）
3.補助金等	95	（ 22）
4.臨時損益等	25	（ 27）
増減計 c	24	（ 19）

前期末 純資産 d	2,187	（ 5）
今期末 純資産 c+d	2,211	（ 24）

〔資金収支計算書〕

経常的収支 e	75	（ 8）
・支出	450	（ 8）
・収入	525	（ 16）
公共資産整備収支 f	△ 11	（△ 4）
・支出	39	（△ 8）
・収入	28	（△ 12）
投資・財務的収支 g	△ 73	（ 11）
・支出	113	（△ 43）
・収入	40	（△ 32）
資金増減額 h e+f+g	△ 9	（ 15）

前期末 資金残高 i	97	（△ 24）
今期末 資金残高 h+i	88	（△ 9）

≪今期の特徴≫

①貸借対照表の負債は、将来債務削減の取り組みにより、前年度比△36億円となりました。
②行政コスト計算書の補助費等は、定額給付金17億円の支給等により大幅増となりましたが、経常費用全体では、前年度比7億円の増に抑えられました。
③純資産変動計算書の臨時損益等は、ニュータウン開発者から周辺緑地等の移管に伴い計上した資産です。
④純資産変動計算書の一般財源は、市税が前年度比△9億円、またH20年度には開発者負担金13億円があったため、今期は△22億円となりました。

※単位は、億円
※（　）は対前年度増減　（△は昨年度よりも減少したことを示す）

Copyright © 2010 Sanda City. All Rights Reserved

★連結財務４表のイメージ

【連結貸借対照表】

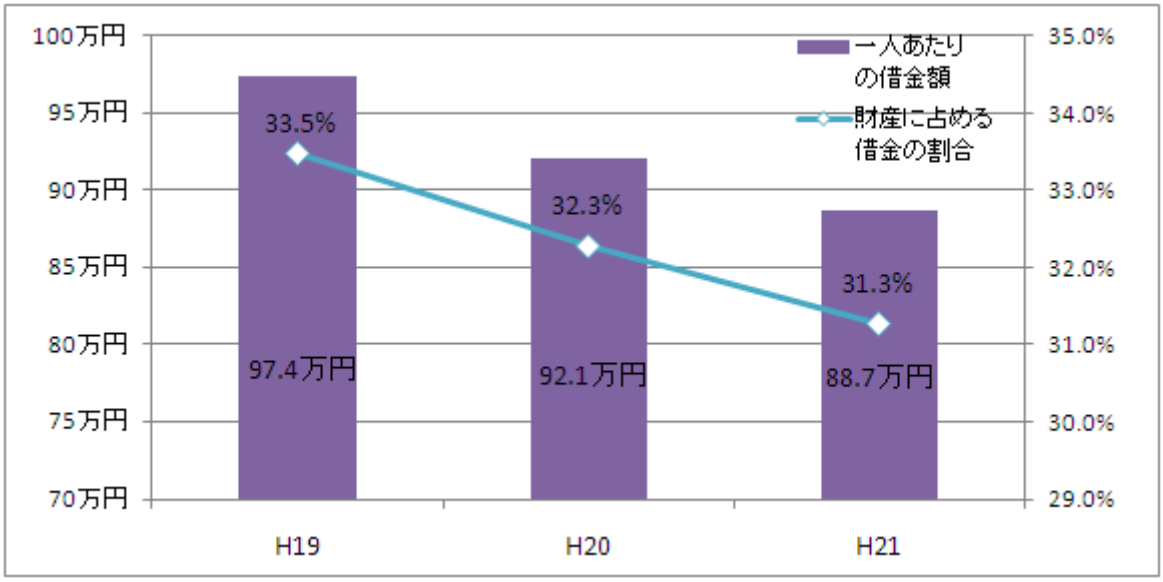
平成 21 年度末の市の財産総額は 3217 億円で、左図の四角い箱で表しています。

箱の左側には、インフラ資産や事業用資産など財産の内訳を示しています。一方、これらの財産を取得するために、これまでの世代に既に負担いただいた額と、これからの将来世代に負担いただく額を、箱の右側に示しています。

インフラ資産や事業用資産は、経年劣化による資産価値の目減り（減価償却）により 76 億円減少するものの、新環境センターや道路・学校等の整備により 63 億円増加したので、差し引き 13 億円の減となりました。

また、平成 21 年度は、前年度に引き続き将来負担の軽減に取り組み、借金などの額を 1042 億円から 36 億円削減しています。

〔将来債務の削減状況〕

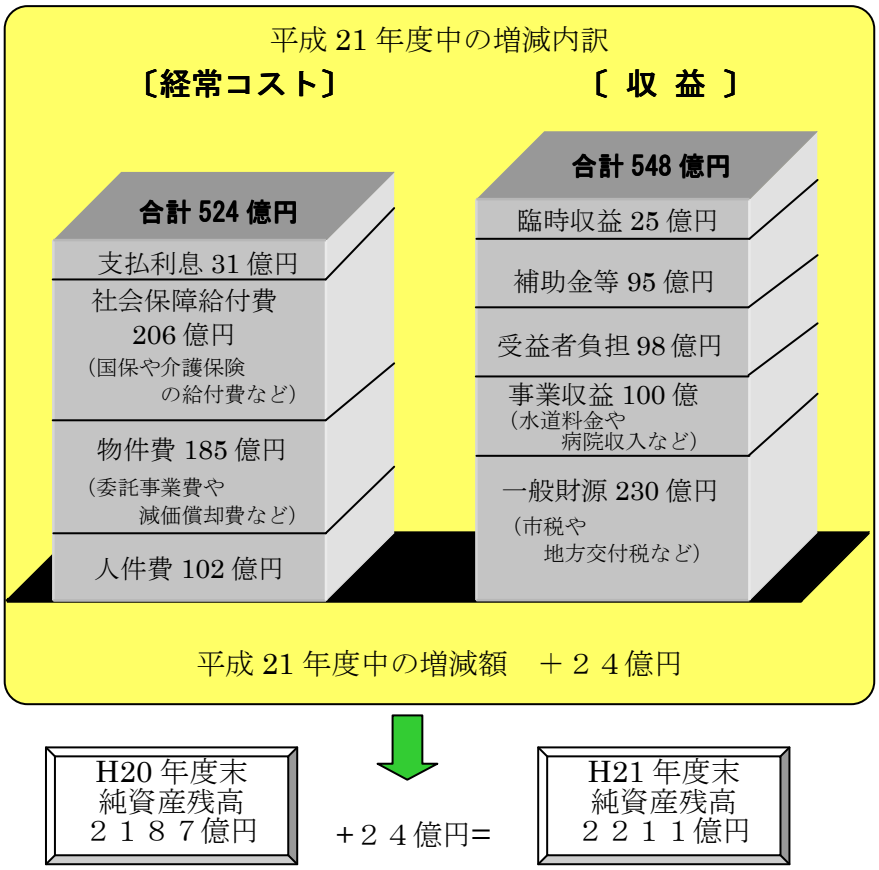


これまでの将来債務削減の取り組みにより、市民一人あたりの借金の額は年々減少し、3 年間で 8 万 7 千円少なくなりました。

また、財産総額のうち借金の残っている割合は、2.2 ポイント低くなりました。

Copyright © 2010 Sanda City. All Rights Reserved

【連結行政コスト計算書・連結純資産変動計算書】

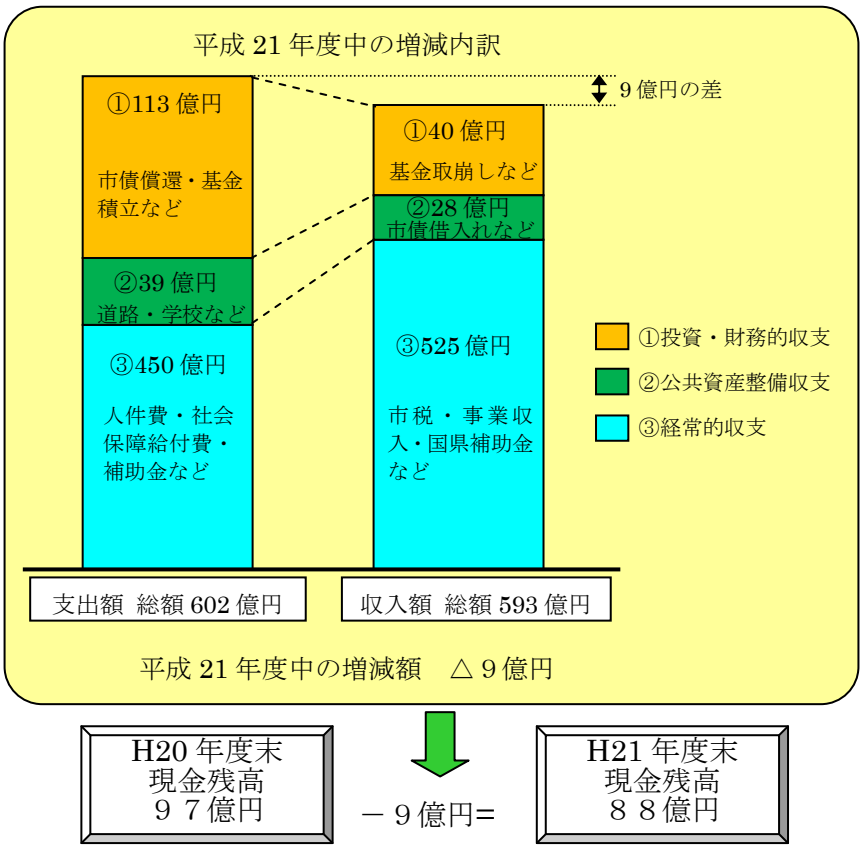


平成 21 年度に行政サービスの提供のために要した費用は、保険給付費や人件費など総額 524 億円かかりましたが、支払利息が昨年度より 5 億円少なくなるなど、行革の効果が表れています。

一方、収益は市税や事業収益など総額 548 億円ありました。

この結果、経常コストよりも収益が多額であったため、純資産は前年度よりも 24 億円増加し、2211 億円となりました。

【連結資金収支計算書】



平成 21 年度末の現金は、昨年度末よりも 9 億円少なくなり、88 億円となりました。

これは、人件費や社会保障給付等の支出だけでなく、将来債務の削減のために積極的に借金の返済をしたことなどにより、手元の現金が減少したことを示しています。

Copyright © 2010 Sanda City. All Rights Reserved

２１年度の財務書類を一般家庭の家計に例えてみると・・・・

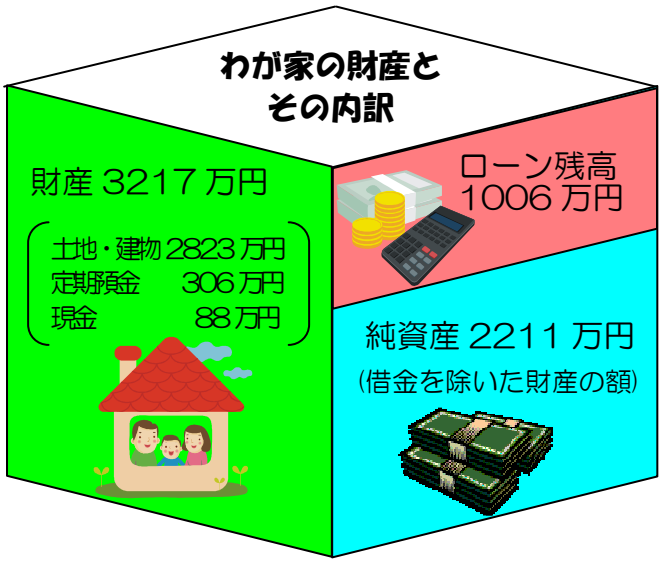
（金額の単位を、億円から万円に置き換えてみました）

★貸借対照表は、

自宅の土地・建物や自動車、預貯金、現金などの財産を３217 万円持っていて、そのうち、住宅ローンが 1006 万円残っている状態に例えられます。

この住宅ローンを除いた残りの部分の 2211 万円を、実質的な財産という意味で純資産といい、財産全体の 2/3 になっています。

２１年度も前年度に引き続き、ローンを積極的に返済し、１年間で 36 万円減らすことができました。



★行政コスト計算書は、

食費や光熱水費、医療費や子どもの学費など、日々の生活にかかる支出（コスト）が、いくらあったのかを表します。この１年間では 524 万円かかったことになります。

★純資産変動計算書は、

１年間の収入に対して、日々の生活にかかる支出（コスト）が多いと、上の図の純資産が減少し、反対に収入が支出（コスト）よりも多かったり、家や自動車を購入して財産を増やしたり、ローンの返済により借金を減らすと、純資産は増加します。

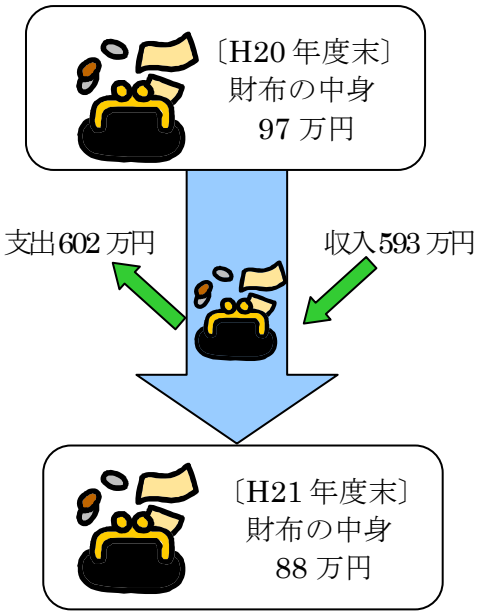
なお、平成 21 年度は臨時収入などもあり、支出よりも収入が多かったので、前年度より 24 万円増えました。

★資金収支計算書は、

財布の中の現金と普通預金がどのような要因でどれだけ増減したのかを表してます。

自動車の購入や、新たな定期預金、借金の返済などは現金が減る要素となり、反対に給料をもらったり、定期預金の解約などは、現金が増える要素となります。

図では財布の中の現金が、１年間で９万円少なくなっていますが、これは、今のうちに将来の家計への負担を軽くしておくために、定期預金を解約することなく、財布の現金を使ってローンの返済をしたことが、大きな要因です。



Copyright © 2010 Sanda City. All Rights Reserved